

平成24年(行ウ)第117号 発電所運転停止命令請求事件

原告 134名

被告 国

証拠説明書(9)

平成27年6月24日

大阪地方裁判所第2民事部合議2係 御中

被告訴訟代理人 竹野下 喜彦

被告指定代理人 伊藤 清隆

山本 剛

中野 恭介

石村 竜太

鈴木 和孝

飛田 由華

帆足 智典

畦地 喜公衣

檀上 信介

小 西 弘 樹

吉 田 隆 一

近 藤 敦 史

古 賀 俊 行

鶴 園 孝 夫

竹 本 亮

武 田 龍 夫

泉 雄 大

三 田 裕 信

松 原 崇 弘

村 川 正 徳

中 川 幸 成

木 村 真 一

山 形 浩 史

中 桐 裕 子

澤 田 智 宏

大 野 佳 史

森 田 深

渡 邊 桂 一

野 田 智 輝

佐 藤 雄 一

桐 原 大 輔

略語は準備書面の例による。

号 証	標 目 (作成者等)	原 ・ 写	作 成 年 月 日	立 証 趣 旨
乙第52号証	基準地震動及び耐震設計方針に係る審査ガイド(地震動審査ガイド) (原子力規制委員会)	写	H25. 6. 19	地震動審査ガイドでは、断層モデルを用いた手法に基づく地震動評価を行う際の震源特性パラメータについては、活断層調査結果等に基づき、推本レシピ等の最新の研究成果を考慮し設定されていることを確認することとしていること(推本レシピにおいて、地震の規模(地震モーメント)を設定する際に「入倉・三宅式」を用いている)。
乙第53号証	1995年兵庫県南部地震の断層モデルと震源近傍における強震動シミュレーション (釜江克宏, 入倉孝次郎)	写	H9. 5. 26	平成7年兵庫県南部地震について、地震動記録の震源インバージョンに基づき震源モデルを策定するとともに経験的グリーン関数法を用いて強震動評価をしたところ、観測記録とよく一致すること。
乙第54号証	A Technique for Simulating Strong Ground Motion Using Hybrid Green's Fun	写	H9. 9. 10	同上。 平成7年兵庫県南部地震について、ハイブリッド法を用い

	ction (釜江克宏, 入倉孝次郎, Arben Pitarka)			て震源モデルを策定し, 強震 動評価をしたところ, 観測記 録とよく一致すること。
1	英文			
2	和文			
乙第55号証	1948年福井地震の強震動- ハイブリッド法による広周 期帯域強震動の再現- (入倉孝次郎, 釜江克宏)	写 H11.6.7		1948年福井地震につい て, ハイブリッド法を用いて 震源断層モデルを設定し強震 動評価をしたところ, かかる 評価における強震動の最大速 度や計測地震が実際の被害分 布を説明し得るものであるこ と。
乙第56号証	リアルタイム地震学 [抜 粹] (菊池正幸)	写 H15.1.17		震源インバージョンの説明
乙第57号証	強震動記録を用いた震源イ ンバージョンに基づく国内 の内陸地殻地震の震源パラ メータのスケーリング則の 再検討 (入倉孝次郎, 宮腰研, 釜 江克宏)	写 H26		「武村(1998)」が断層面積S と地震モーメント M_0 の策定 をする際に用いた地震データ における断層長さL及び断層 面積Sは過小評価の可能性が あること。
乙第58号証	地震学 (第3版) [抜粹]	写 H13.7.1		地中の震源断層の長さ地震

	(宇津徳治)		直後に現れる地表の断層の長さは必ずしも一致せず，地中の震源断層に比べて地表の断層は短くなる傾向があること。
--	--------	--	---